

NPO 法人こどもとむしの会顧問 河合雅雄博士への追悼

足立隆昭¹⁾

人間の由来をサルからひも解くサル学者、世界的権威の霊長類学者、河合雅雄先生（京都大学名誉教授）が去る5月14日午前11時43分ご逝去されました。謹んでご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。

先生はいつものように朝食を召し上がりご家族に少し休んでくると床に就かれ、奥様が寝室を訪れ異変に気付かれるという先生らしい大往生のようでした。

河合雅雄先生は、今西錦司先生らとともにニホンザルの社会構造の解析に個体識別という新しいアプローチでサル学に風穴を開けた京都大学理学部の第一世代を担う業績を残されました。その後ジェーン・グドール博士らとゴリラその他の霊長類研究を先導され世界のサル学の構築と発展に多大な貢献と功績を残されました。

（財）日本モンキーセンターを開設され所長に就任、兵庫県立人と自然の博物館館長、兵庫県教育委員会副委員長、兵庫県森林動物研究センターを設立・初代所長に就任されました。また兵庫県が進める「森構想」実現化のため1996年4月丹波の森公苑初代公苑長に就任され、人と自然と文化が調和した地域を「丹波の森」と呼び、大切に守り育てていこうとする兵庫丹波地域の人々の思いを大切に、兵庫県立丹波の森公苑の礎を築かれました。

2005年6月公苑長退任後は、名誉公苑長として兵庫丹波の地域づくりの活動を温かく見守り続けてこられました。

2008年1月、河合雅雄先生に兵庫県佐用昆虫館が閉鎖になる事を告げ、神戸大学に事務局を置き、竹田真木生教授・県立人と自然の博物館八木主任研究員を中心に発起人会立ち上げと基本構想を話し、顧問就任をお願いしました。顧問就任は快諾を受け、難題もあるだろうが子供たちに自然体験をさせてやって欲しいと激励を受けました。

2013年、神戸大学滝川会館でNPO法人こどもとむしの会が開催した、第一回「ムシのお話5つ星レストラン」冒頭の講演で、河合雅雄先生の昆虫少年のころのお話をいただき、会場が盛り上がりました。

私事になりますが、河合雅雄先生にお会いしたのは



河合先生。

2005年2月丹波の森公苑囑託採用最終面接です。「山あそび」を手伝って欲しくないかと問われ咄嗟に「山あそび」がイメージできず「川あそび」は経験がありますと無礼なことを申し上げたことを思い出します。そのほか丹波の森公苑の設立などについて説明を拝聴し、600mにおよぶ200本のエノキ並木とクヌギ500本の植栽の経緯の説明を聞き「森あそび」（オオムラサキの飼育展示・野外棲息地調査・環境学習）を決意したことを懐かしく思い出します。

河合雅雄先生には公私にわたりご指導・ご鞭撻を受けました。2010年、福音館の月刊誌「たっさんのふしぎ」302号「昆虫少年の夢・オオムラサキ舞う森」を共著させていただいたのは私の宝です。

佐用町昆虫館に河合雅雄先生をご案内したかったのですが、往復約200km、もしもの運転事故の心配から、実現できなかったことが心残りです。

合掌

¹⁾ Takaaki ADACHI NPO 法人こどもとむしの会 元理事